

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	道路等パトロール事業費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	01	細目	006	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等を常に良好な状態に保つため、パトロール及び市民要望箇所の調査を行う。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	市内を南北2地域に分けてパトロールや市民要望箇所の調査を行った。 パトロール走行距離36,049km/年																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,332 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	1,332 千円	パトロール車の燃料費, 点検整備費
財源内訳	H30年度 支出済額 1,332 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	1,332 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	2.50
再任用短時・任期付短時職員	0.50
非常勤職員	0.00
合計	3.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	34,076	24,561	35,642	26,381
	(1)現金を伴う支出 (千円)	27,269	24,625	33,025	28,210
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,120	924	990	1,332
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	26,149	23,701	32,035	26,878
	職員数(常勤 非常勤)	3.25 0.00	2.75 0.00	3.50 0.00	3.00 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	25,135	22,612	30,692	25,705
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	1,014	1,089	1,343	1,173
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	6,807	-64	2,617	-1,829
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	6,807	-64	2,617	-1,829
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	81.01 420,619	57.78 425,105	83.37 427,501	61.45 429,317	

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績		実績	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		日常的なパトロールを実施している事業であり、実施日数や実施箇所数など目標を立てていないため、指標の設定ができない。											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-				-				-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	道路の老朽化による陥没などの緊急対応や市民要望の増加により，パトロールだけの対応では難しい状況にある。
(2) (1)解決のための今後の取組	路面下空洞化調査等を活用することにより，陥没発生の要因となる空洞の早期発見し，補修を実施することで予防保全型の道路管理に取り組む。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民要望箇所の調査及び道路の危険や破損箇所等を発見し，対応を図ることで，道路の安全確保について一定の効果を得ている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市民要望箇所の調査及び道路の破損箇所の発見のため，引き続きパトロールを実施していく。新たなパトロールの手法として，道路通報アプリなどの検討も行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査，計画，施工に関すること	有	有	1	1
8	道路施設等のパトロールに関すること	有	有	1	1
9	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	砂利等原材料費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	市民要望やパトロールによって確認した道路補修箇所を、直営班や委託業務受託者によって早期に対応を行うための原材料購入に要する経費。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	道路補修に必要な原材料の購入 アスファルト合材, コンクリート製品(雨水桝, L型側溝等), 安全柵(ガードレール, 車止め等)等																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳																				
	支出済額	費目	支出済額(千円)					主な事業内容														
	21,567	原材料費	21,567 千円					アスファルト合材, コンクリート製品, 安全柵等														
	千円																					
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳																				
	支出済額	費目	支出済額(千円)					3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.00</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員						平成30年度	正規職員等	1.00	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	1.00
		平成30年度																				
	正規職員等	1.00																				
	再任用短時・任期付短時職員	0.00																				
	非常勤職員	0.00																				
	合計	1.00																				
21,567	分担金・負担金																					
千円	使用料・手数料																					
	国庫支出金																					
	県支出金																					
	その他()																					
	一般財源	21,567 千円																				

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
		行政費用 A	27,298	26,514	37,734	29,535		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	25,596	26,530	34,740	31,203		
		事業費(支出済額-②報酬合計)	19,411	20,237	20,240	21,567		
		償還金利子	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	6,185	6,293	14,500	9,636		
		職員数(常勤 非常勤)	0.75 0.00	0.75 0.00	1.50 0.00	1.00 0.00		
		参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167		
		①職員給与合計(常勤)	5,931	6,021	13,829	9,167		
		②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0		
		③退職金相当額	254	272	671	469		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	2,994	-1,668		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	2,994	-1,668		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	64.90	420,619	62.37	425,105	88.27	427,501	68.80	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
			実績	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路補修に必要な原材料を購入する費用であり、指標の設定ができない。											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	購入する原材料の約50%がアスファルト合材であるが，年々合材単価が上昇しており，道路補修の案件に影響が生じている。
(2) (1)解決のための今後の取組	合材単価の上昇を踏まえた予算化に取り組みとともに，原材料の使用量についてもロス率を低減させて効率的な執行に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	危険や破損箇所等の対応の際に，砂利等原材料費を活用することで早期補修を図り，市民の安全安心の向上に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	道路補修に必要な原材料について，より効率的な活用に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
9	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	道路維持管理委託業務費							担当課	部課名	道路河川部道路維持課						
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	02	課等の長	西山 博光	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務	
事業概要	道路等を安全快適に利用できるようにするため、清掃や保守点検などの日常的な維持管理を専門業者に委託して行う。							
対象	1. 個人	市民					429,317	人
根拠法令等	法律等	道路法						
事業実施内容	1 清掃委託(道路, 駅前広場, 地下道等) 2 道路の草刈り(65,561㎡) 3 街路樹の管理, 剪定 4 駅前公共施設(昇降機等)の保守点検, 保守管理							
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: (株)サンパール藤沢 他) (委託等内容: 藤沢駅北口広場及び人工広場等清掃業務委託 他) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ()							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	474,857 千円	道路施設の保守点検委託, 清掃委託, 街路樹管理委託
	474,857 千円			
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金	937 千円	
	474,857 千円	使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
	一般財源	473,920 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	2.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
コスト	行政費用	A	232,244	241,924	474,476	495,473			
	(1)現金を伴う支出(千円)		228,840	241,957	473,167	494,129			
	事業費(支出済額-②報酬合計)		219,293	232,312	458,667	474,857			
	償還金利息		0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)		9,547	9,645	14,500	19,272			
	職員数(常勤 非常勤)		1.00 0.00	1.00 0.00	1.50 0.00	2.00 0.00			
	参考:正規職員平均給与		9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)		9,040	9,101	13,829	18,334			
	②報酬合計(非常勤)		0	0	0	0			
	③退職金相当額		507	544	671	938			
	(2)現金を伴わない支出(千円)		3,404	-33	1,309	1,344			
	①減価償却費		0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額		3,404	-33	1,309	1,344			
	③不納欠損額		0	0	0	0			
④その他()		0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		552.15	420,619	569.09	425,105	1109.88	427,501	1154.10	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績			-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	道路等を日常的に維持管理する事業であり、指標の設定ができない。												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-			-			-			-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	道路等の新設や老朽化が進み，日常的な維持管理に必要とする費用が増加している。特に近年は駅前に昇降機やエレベーターの施設を新たに設置しており，管理費用が増加している。街路樹についても植栽から相当年数が経過していることから，根上りや大径木化が進んでいる。
(2) (1)解決のための今後の取組	道路等の老朽化への対応や街路樹の管理のため，予算の効率的な執行を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	日常的な維持管理や点検を行うことで適正な運用が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	道路等や街路樹の適正な維持管理が行えるよう，道路ストックマネジメント計画の策定を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
9	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	道路応急対策費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	03	課等の長	西山 博光	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等を常に良好な状態に保ち、市民生活の安全安心の向上に寄与するため、道路等の緊急性を要する穴埋めや陥没補修等を専門業者に委託する。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	傷んだ道路等の応急補修を行い、通行の安全を図った。 ・舗装応急対策 2人体制 112日 ・道路応急対策 3人体制 170日 ・緊急対応対策 3人体制 27日																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 協和通商(株) 他) (委託等内容: 舗装応急対策業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		主な事業内容				
		費目	支出済額 (千円)					
		委託料	36,497 千円		道路補修応急対策業務委託 他			
		36,497 千円						
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		36,497 千円	3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)			
		費目	支出済額 (千円)			平成30年度		
		分担金・負担金				正規職員等	1.00	
		使用料・手数料				再任用短時・任期付短時職員	0.00	
		国庫支出金				非常勤職員	0.00	
		県支出金				合計	1.00	
		その他 ()				※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		
一般財源	36,497 千円							

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	48,156	45,954	51,737	44,465			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	44,752	45,987	50,428	46,133			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	35,205	36,342	35,928	36,497			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	14,500	9,636			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	1.50 0.00	1.00 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	13,829	9,167			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	544	671	469			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	-33	1,309	-1,668			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	1,309	-1,668			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	114.49	420,619	108.10	425,105	121.02	427,501	103.57	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路の応急対応を必要とする事業であり、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	道路舗装の老朽化が進み，応急補修が必要な案件が増加しており，1箇所あたりの対象規模も大きくなってきている。
(2) (1)解決のための今後の取組	過年度の業務委託の対応実績や要望件数から，実績に基づき業務委託の対応割合を調整する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	老朽化した道路等の応急補修を迅速に対応することで，通行の安全が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	道路等を利用する市民が，安全に利用できるよう，引き続き道路応急対策を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査，計画，施工に関すること	有	有	1	1
9	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	道路維持管理業務費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	04	課等の長	西山 博光	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等の維持補修にかかる費用及び使用する光熱水費等の経費。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1 道路等を修繕や工事で補修する。 2 道路施設に必要な光熱水費及び通信費, 使用料や賃借料等の経費。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 437,125 千円	事業費節別内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)										
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		需用費	253,171 千円	施設修繕, 光熱水費電気代, 光熱水費上下水道代 他											
		役務費	19,766 千円	樹木伐採手数料, 火災保険, 自動車損害保険等											
		使用料及び賃借料	6,568 千円	専用回線使用料, 電話機・ファックス賃借料等											
財源内訳	H30年度 支出済額 437,125 千円	事業費節別財源内訳			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>17.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17.50</td> </tr> </table>		平成30年度	正規職員等	17.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	17.50
			平成30年度												
		正規職員等	17.50												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
合計	17.50														
費目	支出済額 (千円)														
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 (電気料実費収入ほか)	17,041 千円														
一般財源	420,084 千円														

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	466,988	396,658	446,406	609,336			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	419,668	389,302	437,503	605,759			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	295,554	254,265	275,104	437,125			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	124,114	135,037	162,399	168,634			
	職員数(常勤 非常勤)	13.00 0.00	14.00 0.00	16.80 0.00	17.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	117,520	127,414	154,879	160,423			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	6,594	7,623	7,520	8,211			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	47,320	7,356	8,903	3,577			
	①減価償却費	3,073	4,405	3,685	3,279			
	②退職給与引当金繰入額	44,247	2,951	5,218	298			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1110.24	420,619	933.08	425,105	1044.22	427,501	1419.31	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
	実績		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		日常管理に必要な電気・水道等の経費や、突発的な道路施設の維持補修を行う事業であり、指標の設定ができない。									
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-				-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	年々、管理する道路等が増加しており、既存施設も老朽化が進んでいる。
(2) (1)解決のための今後の取組	道路等の適切な維持管理のため、計画的な維持・修繕の執行を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民が安全に道路等を利用できるよう維持管理を行い、通行の安全が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	道路等を利用する市民が、安全に利用できるよう、引き続き維持管理を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査, 計画, 施工に関すること	有	有	1	1
9	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	道路改修舗装費	担当課	部課名	道路河川部道路維持課	
予算科目コード	会計 01 款 09 項 02 目 02 細目 003 説明 01	課等の長	西山 博光	電話	6637

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	道路利用者の安全や円滑な通行環境を確保するため、急速に老朽化が進んでいる道路舗装の計画的な点検、打換や、劣化箇所適切な補修対応など道路舗装の維持管理を行う。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 舗装打換工事 善行長後線他45件 延長 6,750.6m 面積 40,840.3㎡		2 調査委託 FWD調査委託				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: ㈱フジヤマ) (委託等内容: FWD調査委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		工事請負費	540,880 千円	工事による舗装打換等
		需用費	268,986 千円	修繕による舗装打換等
	814,201 千円	委託料	4,320 千円	FWD調査委託
	旅費	15 千円	県庁等への旅費	
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
	814,201 千円	国庫支出金	102,127 千円	
		県支出金		
		その他 (市債)	151,200 千円	
	一般財源	560,874 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	8.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	8.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト	行政費用 A	1,017,070	912,291	874,203	896,753			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	987,459	912,572	878,573	896,109			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	904,398	828,656	801,240	814,201			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	83,061	83,916	77,333	81,908			
	職員数(常勤 非常勤)	8.70 0.00	8.70 0.00	8.00 0.00	8.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	78,648	79,179	73,752	77,920			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	4,413	4,737	3,581	3,988			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	29,611	-281	-4,370	644			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	29,611	-281	-4,370	644			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2418.03	420,619	2146.04	425,105	2044.91	427,501	2088.79	429,317

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		藤沢市道路舗装修繕計画による年次工事の他に日々発生する多様な要望等の対応を図ることによる安全確保を行っていることから、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	国庫補助金の増額内示により6月に増額補正を行い, 工事の前倒しにより追加路線を選定する必要が生じた。また, 直営や委託, 修繕等による効率的な執行を図る必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	安定的な特定財源の確保は重要な課題と考え, 内示額の動向にも柔軟に対応できるように取組む。また, 件数の多い修繕の契約方法の見直しを検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	老朽化した舗装打換や修繕等の応急的対応を行うことで, 市民の円滑な通行と生活環境の維持及び安全を確保することができた。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
	急速に増加している舗装打換需要に対応するため, 一般道路の効率的な舗装修繕の仕組みについて, 書類等の作成を含めた修繕処理に係る時間・労力の軽減化を図り, 円滑な修繕の執行を行う必要があることから, 他市の状況把握を踏まえ, 契約手法の見直しを検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	舗装打換の調査, 計画, 施工に関すること	無	有	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	藤沢宿地区舗装改修費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	003	説明	03	課等の長	西山 博光	電話	6637

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	平成26年4月施行の「藤沢市街なみ百年条例」に基づき指定された旧東海道藤沢宿街なみ継承地区において、歴史的・文化的な資源の保全・継承等との調和を図りながら、楽しく歩ける回遊性のある魅力的な道路空間を創出するため、北仲通り線や横町等の舗装改修にあわせて舗装の高質化を図る。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等	道路法, 藤沢市街なみ百年条例, 旧東海道藤沢宿街なみ継承ガイドライン					
事業実施内容	北仲通り線舗装打換工事 延長 247.7m 面積 1,362㎡ (遮熱性舗装 A=1,202㎡)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
	32,196 千円	工事請負費	32,196 千円	北仲通り線舗装打換工事											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table>		平成30年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
		平成30年度													
	正規職員等	0.50													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.50													
	支出済額	費目	支出済額 (千円)												
32,196 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他 (市債)	28,900 千円													
	一般財源	3,296 千円													

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
		行政費用 A	21,506	29,773	34,184	35,401		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	18,783	29,799	33,761	37,015		
		事業費(支出済額-②報酬合計)	11,145	22,082	24,094	32,196		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	7,638	7,717	9,667	4,819		
		職員数(常勤 非常勤)	0.80 0.00	0.80 0.00	1.00 0.00	0.50 0.00		
		参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167		
		①職員給与合計(常勤)	7,232	7,281	9,219	4,584		
		②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0		
		③退職金相当額	406	436	448	235		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,723	-26	423	-1,614		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	2,723	-26	423	-1,614		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	51.13	420,619	70.04	425,105	79.96	427,501	82.46	429,317

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	道路施設改修事業費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4442

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	老朽化が進む道路施設について、安全で円滑な交通の確保や適正な維持管理を行うため、専門家による定期点検や調査を実施するとともに、点検等の結果に基づき、計画的に道路施設の修繕、改修、長寿命化等を実施する。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 道路トンネル定期点検委託 (4トンネル) 2 道路照明灯点検委託 (その1: 956基, その2: 375基) 3 大庭トンネル吸音板及びジェットファン撤去工事 (ジェットファン4基) 4 門型標識改修工事 (撤去・再設置1基) 等						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 株式会社アミック) (委託等内容: 道路トンネル定期点検委託) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 公益社団法人地盤工学会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 177,927 千円	事業費節別内訳			
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容	
		委託料	84,214 千円	建設事業関係委託	
		工事請負費	81,369 千円	大規模維持補修工事	
		需用費	10,812 千円	施設修繕費, 印刷製本費	
		負担金補助及び交付金	33 千円	地盤工学研究発表会参加者負担金	
		その他	1,499 千円	旅費, 役務費, 使用料及び賃借料	
財源内訳	H30年度 支出済額 177,927 千円	事業費節別財源内訳			
		費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金		千円	
		使用料・手数料		千円	
		国庫支出金	42,870 千円		
		県支出金		千円	
		その他 (市債)	22,900 千円		
一般財源	112,157 千円				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	2.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	48,040	90,554	96,744	203,309			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	45,317	87,209	96,572	202,018			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	37,679	69,847	77,239	177,927			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,638	17,362	19,333	24,091			
	職員数(常勤 非常勤)	0.80 0.00	1.80 0.00	2.00 0.00	2.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	7,232	16,382	18,438	22,918			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	406	980	895	1,173			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,723	3,345	172	1,291			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,723	3,345	172	1,291			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	114.21	420,619	213.02	425,105	226.30	427,501	473.56	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路施設の点検・補修及び改修を目的とした事業であり、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	国庫補助金の内示額が低く、「道路保護擁壁・のり面」の点検を計画的に進めることが難しい状況となっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	令和元年度についても、特定財源の確保は難しい状況が想定されるため、各事業間で特定財源の調整を行うことにより、「道路保護擁壁・のり面」の点検に着手するもの。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	道路トンネルについては、5年に1回の定期点検(法定点検)を実施し、一定の健全度を確保していることを客観的に確認することができた。 道路照明灯については、平成27年度から順次点検を実施しており、点検完了に向けた取組を進めることができた。 また、点検結果に基づき、緊急修繕等を行い、市民の安全を確保することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	点検が完了していない「道路照明灯」及び「道路保護擁壁・のり面」の点検を行い、点検結果に基づき、緊急修繕等を行うとともに、各施設の個別計画(修繕等に関する計画)の策定を進める。 平成30年度に作成した『藤沢市道路ストック白書』に基づき、道路施設全体を対象に、長寿命化によるライフサイクルコスト(LCC)の最小化、維持、修繕費の平準化等を図ることを目的に、持続可能な管理のあり方・方針、総合的・長期的(50年程度)な管理に関する『(仮称)藤沢市道路ストックマネジメント計画』の策定を進める。 計画策定後は、順次、計画に基づく修繕事業等を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査, 計画, 施工に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	道路安全対策費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	交通事故を防止し、安全で円滑な道路交通を確保するため、通学路点検や市民要望をもとに道路の安全施設を整備する。						
対象	1. 個人	市民				429,317	人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 道路反射鏡の新設・建替 64基 2 道路区画線標示の新設・補修 約38,700m						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株) 藤沢市興業公社)						
	(委託等内容 : 道路反射鏡清掃及び管理)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 77,447 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		工事請負費	51,586 千円	道路区画線標示補修等工事・道路安全施設設置工事
		需用費	16,103 千円	道路安全施設の修繕
		役務費	1,217 千円	道路反射鏡周辺枝払い等
財源内訳	H30年度 支出済額 77,447 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	77,447 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	118,663	144,890	97,894	86,975			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	119,207	144,919	97,808	87,083			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	110,615	136,238	88,141	77,447			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	8,592	8,681	9,667	9,636			
	職員数(常勤 非常勤)	0.90 0.00	0.90 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	8,136	8,191	9,219	9,167			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	456	490	448	469			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-544	-29	86	-108			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-544	-29	86	-108			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	282.12	420,619	340.83	425,105	228.99	427,501	202.59	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
		-										
	実績			-	単位		-	単位		-	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路の安全施設の維持管理を目的としている事業であり、指標の設定ができない。									
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	安全柵や道路区画線標示については，台帳が未整備のため，台帳整備を進める必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	台帳整備のため関係各課と連携して進める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	道路反射鏡，安全柵や道路区画線等を適正に維持管理することで，円滑な通行が図られ市民の安全が確保された。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	設置要望の多い道路反射鏡については，その役割やデメリット面に関しても周知を図っていく。 道路区画線表示については日々摩耗していくものであり，安全対策施設が有効に機能するように維持・補修・改善を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
4	道路反射鏡及び交差点自発光板の新設等	有	有	1	1
5	道路反射鏡の方向直し等の維持管理	有	有	1	1
6	道路区画線による警戒標示及びグリーンベルトの新設	有	有	1	1
7	道路区画線による警戒標示及びグリーンベルトの補修	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	橋りょう維持修繕費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	05	細目	001	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4443

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	本市の橋りょう等道路施設の安全を確保するため、老朽化の進んでいる橋りょうの維持修繕等を行う。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1 橋りょう小規模修繕 8件 2 準用河川高欄改修工事 1件(城山橋) 3 橋りょう点検技術者育成に関する研修負担金 4 橋りょう維持修繕事業事務経費																
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () : () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 一般財団法人橋梁調査会) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 9,178 千円	事業費節別内訳			主な事業内容										
		費目	支出済額(千円)												
		需用費	5,779 千円	橋りょうの小規模修繕											
		工事請負費	3,260 千円	城山橋高欄改修工事											
		負担金補助及び交付金	105 千円	橋りょう点検技術研修負担金											
		旅費	34 千円	工場検査等への旅費											
財源内訳	H30年度 支出済額 9,178 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
			平成30年度												
		正規職員等	0.50												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.50												
		費目	支出済額(千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他()															
一般財源	9,178 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	10,675	10,966	20,854	12,383			
	(1)現金を伴う支出(千円)	9,994	10,973	18,408	13,997			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	8,085	9,044	8,741	9,178			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	9,667	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.20 0.00	1.00 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	9,219	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	101	109	448	235			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	681	-7	2,446	-1,614			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	681	-7	2,446	-1,614			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	25.38	420,619	25.80	425,105	48.78	427,501	28.84	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		橋りょうの維持管理を目的としている事業であり、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	重要な道路施設である橋りょうの老朽化が一斉に進行しており，今後も継続して修繕を実施しなければならぬ。
(2) (1)解決のための今後の取組	予防保全的な維持管理を計画的に継続する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	年間で実施する予定の橋りょう維持修繕の目標は概ね達成しており，橋りょう維持修繕事業については一定の効果を得たものとする。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	重要な道路施設である橋りょうの利用者の安全を確保するため，損傷箇所の修繕や老朽化の著しい高欄の改修工事を継続して実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査，計画，施工に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	橋りょう事業事務費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	06	細目	001	説明	02	課等の長	西山 博光	電話	4443

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	神奈川県が進める河川改修事業に伴う橋りょう架替事業等に要する経費。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	河川法・道路法															
事業実施内容	1 神奈川県庁協議等に要する旅費 2 橋りょう事業に関する事務経費																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	768 千円	橋りょう事業実施に伴う印刷製本費等の事務経費
		旅費	28 千円	神奈川県庁等への旅費
	796 千円			
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
	796 千円	一般財源	796 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	2,436	2,071	13,398	4,001			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,096	2,074	10,615	5,615			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,141	1,110	948	796			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	964	9,667	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	1.00 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	9,219	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	448	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	2,783	-1,614			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	2,783	-1,614			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	5.79	420,619	4.87	425,105	31.34	427,501	9.32	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績			-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	橋りょう架替のための事務経費であり、指標の設定ができない。												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	新規事業（六会橋）の実施に伴い，神奈川県との河川協議が始まることから，資料作成にあたっての工夫をしなければならない。
(2) (1)解決のための今後の取組	協議資料のまとめ方を見直し，協議の主旨と合わない参考資料を削減して事務の効率化を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	橋りょう事業の円滑な事務執行が図られ，一定の効果が得られたものとする。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	資料の作成方法を工夫し，事務経費のより効率的な活用を心掛ける。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
2	橋りょうの新設及び改良に関すること	有	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2019/8/8
----	-------	----	-------	-----	----------